

清流



No. 30

●発行 社会福祉法人 かなな会
 〒375-0014 群馬県藤岡市下栗須887-1
 TEL 0274-24-5885 FAX 0274-24-6855
 E-mail kannakai-98@triton.ocn.ne.jp

「ポップラ開所」

施設長 松井保隆

多くの方々の協力により、4月1日、障害福祉サービス事業所「ポップラ」が、職員駐車場南側にスタートしました。3月の開所式には、県・市を初め、沢山のご来賓を代表し、新井市長様よりご挨拶を頂き、ありがとうございます。

ポップラは定員20名、生活介護の通所の施設です。出来ることを増やし、一人ひとりに合った日中活動(自立課題、創作活動、余暇活動等)を提供し、また家庭以外の様々な体験をすることで、その人なりの自立した生活ができるよう支援していきます。

午前は作業を中心とした活動(自立課題・さをり織り等)、午後はレクリエーション、絵画、クラブ活動等を行います。絵画活動では皆とても個性的で素敵な絵を描いています。クラブ活動ではこれまでに、染物、園芸、紙粘土作品作り、料理などを行いました。今後いろいろなクラブ活動を企画し、利用者さんの楽しみとなる活動にしていきたいと思っています。宜しくお願います。



〈絵画クラブ〉



外観

鉄骨造り1F建て
 敷地面積 2,104㎡
 建築面積 490.92㎡



〈開所式〉
(新井市長様)

住所 藤岡市下栗須973の1
 TEL 0274-2518128
 FAX 0274-2518168
 E-mail poplar-14@wsh.ocn.jp

♪♪♪♪♪ 楽しかったぞ。ありがとうございました。 ♪♪♪♪♪



デキシークイーンズ(沖電気)
(3/1)



あらら&トライアングル
新年会(1/15)で



琴城流大正琴上毛支部
クリスマス大会(12/24)で



森地区の獅子舞(10/13)

..... (かなな会 がんの里 平成25年10月～平成26年3月までの主なできごと)

3月	2月	1月	12月	11月	10月
二葉養護学校保護者見学会(27日) デキシークイーンズ慰問(1日) ひなまつり行事食(3日) 保護者総会(13日) 避難訓練(18日) 第8回かなな会理事・評議員会(26年度事業計画、予算計画、定款変更)(25日) 福祉協会総会(26日) ポプラ引渡し、県よりポップラ事業所指定(28日)	あすなろ祭(大雪の為中止) 新人職員研修(課題作り)(8日) 班外出(12日、25日) 第14回地域支援セミナー(小道モコ氏)(11日) 新年会(オカリナ、歌等)松花堂弁当(15日) はし(乗り)藤岡若鷹会(17日) 設備資金借入金返済(4日) 新人職員研修(課題作り)(8日)	ゆうあいフェスティバル(8～10日) 第14回地域支援セミナー(小道モコ氏)(11日) 新年会(オカリナ、歌等)松花堂弁当(15日) はし(乗り)藤岡若鷹会(17日) 設備資金借入金返済(4日) 新人職員研修(課題作り)(8日)	バイキング(24日) もちつき、大掃除(28日)、冬季帰省(28～4日) 職員研修旅行二班(6・7日) 市役所で作品、野菜販売(12日) 第7回かなな会役員会(理事、評議員定数変更、「ポップラ」定款変更、新会計基準就業規程の見直し)(13日) クリスマス会(琴城流大正琴、バイキング)(24日) もちつき、大掃除(28日)、冬季帰省(28～4日)	避難訓練、東朋会ボランティア清掃(13日) 職員旅行一班(新潟太陽の村)(22・23日) 秋の定期健康診断(31日) 保護者会旅行(川越)(11日) しのめ信用金庫絵画展(一ヶ月)	ウイルピー職員見学(16日) 職員採用試験(20日) 音楽会、松花堂弁当(24日) ポプラ地鎮祭、26日より工事開始(26日) 施設職員研究発表会(清水、「摂食」えん下の取り組みと見直し)「最優秀賞」(30日) 藤岡市立東中学校、藤樹祭でラジカセ一台寄贈(31日) 秋の定期健康診断(8日)

追悼



26.1.3 ご逝去
享年83才

故 かなな会前理事長
黒澤明彦先生へ
感謝を込めて

かななの里施設長 島野 信美

黒澤先生との出会いは、昭和52年4月、私が西部教育事務所管轄の特殊教育訪問指導員に就いた時の直接の上司(指導主事)だったことから始まりました。今まで就学を猶予されていた重度、重複障害の人も養護学校への義務制が施行される一年前でした。対象児の在宅訪問に同行した際、暖かく優しい人柄に接することができました。そのことがご縁で、社会福祉法人かなな会の理事をお願いしようという一番先に伺いました。

平成11年4月「かななの里」はスタートし、県の5団体の会長である初代の近藤理事長が同13年11月ご逝去の後、すぐに快く理事長を引き受けて下さいました。元校長先生らしく、私達職員がブレないよう指導し、一人一人を色んな場面でほめて伸ばして頂きました。私が専門学校の講師を頼まれて迷っていた時、「市史編纂室長や主任保護司の他に高校の同窓会長を引き受けたのは、かななの里のイメージアップにつながるのだと思っただから」と、背中を押して下さいました。

かななの里の利用者2人の絵が、平成22年3月パリのアール・ブリュット・ジャポネ展に出品された時も、「名誉なことだから、2人で行きましょう」と誘って頂きました。行事にも積極的に参加され、利用者と共に生まれ、藤華祭、セミナーの宣伝に学校回りも沢山して貰いました。

合掌



障害者会 小1
市大会 第1
岡スポーツ
藤岡 (5月)

「かななの里」園内研修

統括主任 宮前 寿美

私達支援スタッフは、業務終了後や休日に勉強会を開いています。それは、かななの里の利用者の方々は、かなりの割合で知的障害と自閉症スペクトラム障害を合併しているからです。その為、スタッフには、自閉症スペクトラムの障害について正しく理解し、自閉症スペクトラムの人に合った支援の提供が求められていると感じているからです。

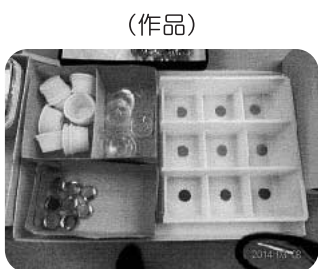
あげ、より知識を自らの仕事に生かす必要性を学び、チームで仕事を行うことを再認識することです。3つ目は、「創咲会」。具体的な事例等をあげ、課題作りをテーマに進めて行く実技講習会。アセスメントから始まり、数多くの課題を作成して行きます。

この勉強会は、月に3コース構成されています。1つは、新人職員を対象とした「若葉会」。目的は、新人スタッフが勉強会を通して、スタッフ間で意見を出し合い、情報交換が大事であることを学ぶことです。内容は、「やさしい自閉症のすすめ」「自閉症の特性」「アセスメント」「構造化」「余暇活動と問題行動」これら

先輩としてレクチャーの練習、「研鑽会」では、チーム力を養う柱作り。「創咲会」では、アイデアのプレゼン。そして記録係。

「この人なら大丈夫」と体調が思わしくなく退任なさる25年5月、推薦して頂いた現小林敏夫理事長のもと、お陰様で順調に16年目に入りました。今まで

これら勉強会は、それぞれ細井啓子さんにアドバイザーをお願いし、勉強会の問題点を楽しく拾い上げてもらい、明日からの活力としています。



(作品)



創咲会(4/5) (2人1組で)



沢山の材料が用意されて



細井先生による講義を受けて

藤岡市福祉支援センター

〈生活介護事業〉

もくせい生活介護事業所は、生活班、作業班に別れています。作業班では藤岡市内外の企業からいただいた授産作業を中心に取り組み、日々忙しく過ごしています。日中活動の中では外出訓練・調理実習なども計画的に実施しております。その中で10月の調理実習(写真)では芋煮や炊き込みご飯をみんなで作り、美味しくいただきました。また生活班ではニーズにより、理学療法指導や機械入浴などの個別支援も行っており、利用者の方々が目標を持ち、一日一日が充実したものである様、日々支援活動に従事しております。



(記：生活支援員 羽鳥衣代)

〈就労継続B型事業〉

就労継続B型事業は、一般就労を目的に訓練や実習などを支援する就労班と、企業からの授産作業や所外作業を通じて生産活動に関するスキル向上を支援する作業班で、計23名の利用者さんが活動しております。就労班は清掃訓練(写真)や実習を経て、昨年度から老人ホームでの清掃のお仕事でお給料を頂けるようになりました。作業を終えると達成感でとても良い表情が見られる様になってきました。今後も働く場を利用者さんに提供出来る様、関係機関と連携し取り組んで参ります。作業班は工賃アップを目標に新しい作業にチャレンジしております。今後も多方面で色々な作業のスキルアップを進めて参ります。



(記：職業指導員 萩原英幸)

もくせい平成25年10月〜平成26年3月の主な活動

- 10月
 - 前橋市内老身施設職場実習1名(7/10日、就労継続B型・就労班利用者)
 - 渡良瀬看護学校実習1名(9・10日)
 - 日帰り旅行(16日〜11月4日、さいたま鉄道博物館他、生活介護・生活班利用者)
 - 藤岡市指定管理委員会(22日、藤岡市役所庁舎)
 - 合同就労面接会(30日、ピエント高崎、就労継続B型・就労班利用者)
 - 利用者インフルエンザ予防接種(31日)
- 11月
 - 群作連第三ブロック交流会(6日、甘楽町勤労体育センター体育館)
 - 利用者健康診断(8日)
- 12月
 - 高崎市立養護学校来所見学(20日)
 - クリスマス会(下旬、事業毎)
 - 保護者会・納会(27日)
 - 冬季休暇(28日〜1月5日)
- 1月
 - かなな会地域支援セミナー(11日、みかほみらい館)
 - 市障害者団体新年会(25日、諏訪神社)
- 2月
 - 藤岡消防署立ち入り検査(17日)
 - 利用者個別面談、個別支援計画策定(24日)
- 3月
 - 群馬アピリンピック2013参加1名(9日、群馬県職業訓練センター)
 - 防災訓練(14日、藤岡消防署立ち会)
 - 年度末食事会(28日、料亭おきな)

マロニー

主任生活支援員 北野美智子

11月の秋の旅行は、『親子旅行』の年にあたり、希望として『東京デイズニールランド』との声があがって来たこともあり、新しい年度が始まると職員間では何度も話し合いが行われました。暑すぎず、寒すぎず、晴れの日の多い11月の5日に日程が決まりました。たくさんさんの保護者の方の参加や、ケアホームの利用者さんも一緒にいけるなど、大型バス満員の賑やかな一行となりました。バスガイドさんがサーブスで付いてくれたこともあって、旅行気分も盛り上がり、無事にお土産と思いい出を持ち帰って来られました。

高崎のサンピアでの新年会にもたくさんさんの保護者の方に出席していただきました。嬉しいことです。通所施設として、常に保護者の方々のつながりを大切にして、利用者さんが毎日楽しく通える場所をめざして進んでいきたいと思っています。

マロニー平成25年10月〜平成26年3月の主な活動

- 10月
 - 避難訓練(4日)
 - 音楽会(24日)
- 11月
 - 親子旅行(5日)
 - デイズニールランドへ
- 12月
 - 定期健康診断(8日)
 - インフルエンザ予防接種(21日)
 - 防災ビデオ鑑賞(5日)
 - グループ別外出
 - クリスマス会(24日)
 - もちつき会(27日)
 - 冬休み(28日〜1月5日)
 - ゆっあいフェスティバル(8日〜10日)
- 1月
 - 第14回地域市民セミナー(11日)
- 2月
 - 新年会(17日)
 - 節分豆まき(3日)
 - グループ別葛狩り
- 3月
 - 避難訓練(18日)
 - 保護者会役員会(28日)
 - 年度末大掃除



相談支援事業所

相談支援専門員 君野 文子

障がい福祉サービス支給決定の根拠となる利用計画を作成するようになって二年。児童発達支援サービスを利用する三歳のお子さんから、同行援護を利用する八十半ばの方まで、たくさんの方々との出会いがありました。事業所全体として、百人を超える方々の計画作成に関わらせていただいております。

モニタリングをする中で、療育を受けるようになって大きく成長されたお子さんもいますが、家族から自立した生活をしたと希望されています。必要な支援が受けられる社会資源がなく、望む生活に近づけていない成人の方もいる現実に直面します。ご本人の力をつけていく支援とありますが、地域も力をつけていかないといわずかしこいと感じております。

今年度もたくさんの方々の関係機関の方々にお世話になりながら、地域の福祉が向上するよう私どもも力をつけていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

障害者就業・生活支援センター

トータス

主任就業支援ワーカー 亀井あゆみ

平成26年4月からトータスに新しい職員も加わり、また事務所も移転になったこともあり、新たなスタートを切りました。

職員の体制は、今年度より就業担当者が3名・生活担当者が2名の計5名体制になりました。今年度から1名増員になり、さらに今年度も職員一丸となって、頑張っていきたいと思っております。事務所の移転につきましては、3月末まで同法人の福祉支援センターもくせい内に事務所を設けておりましたが、4月より同法人のポプラやあじさいの近くにトータス単独で事務所を設けて移転しました。駐車場や相談スペースも確保されていますので、ぜひお気軽にご相談下さい。

平成25年度の活動状況の報告としましては、25年3月末現在、登録数が349名(身体障害55名・知的障害125名・精神障害161名・その他の障害8名)企業での職場実習実施件数が24名・一般企業への就職件数が53名でした。平成24年度に比べて企業へ就職された方が多く、今後は就職された方々が、その職場で定着する支援が中心になっていきます。

今年度も就職を希望している方々が、より多く職場体験実習を経験し、就職に結び付くようにお手伝いしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願致します。

グループホーム

あじさい

世話人 角田 秀子

桜の花も終り、新緑の季節を迎えた五月一日、あじさいへ六人目の利用者さんが入所されました。かりんから引越して来られたので、すぐに皆と馴染み、三日からは安中の森の家へ二泊三日で旅行に出かけました。

森の家へは、かなの里から一名と、あじさいの三名、合計四名で、往復タクシーをお願いして行ってきました。森の家は静かな山の中で、おいしい食事をいただき、ゆっくりお風呂に入って、次の日は近くのカラオケにヘルパーさんと行って、好きな歌をうたったり、お昼にはバーベキューで、お肉や焼きそばを御馳走になりました。五日のお昼は、焼きたての釜焼ピザをいただき、とても美味しかったですと話していました。

皆さん楽しい思い出がたくさんできて、元気な顔でお帰りになり、また皆で森の家へ行こうねと、お茶を飲みながら話し合っていました。

グループホーム

かりん

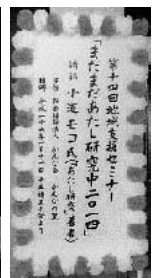
世話人 塩野 光枝

開所から、十二年が過ぎました。利用者さんも元気に過ごしています。今年の五月から女子一名が「あじさい」に移り、男子三名になりました。とまどいもありますが、かなの里の皆様、助言や手助けをして戴き、日々送ってまいります。日中はもくせいに行き、作業に取り組み頑張っています。

入浴は順番を決め、声を掛け合って入ります。ゴミ出し当番・風呂・トイレ掃除等も順番を決めています。

月一回の外出、外食が楽しみで、アイデアを出しながら場所を決めます。それと、寒くても暑くても散歩がてらに行くゴミ拾いも、行事の一つです。土曜日はヘルパー利用の外出や、クラブの行事で余暇を楽しく過ごしています。健康に注意し楽しく仲良く暮らしていきたいと思っております。今年もよろしくお願致します。

第14回地域支援セミナー



(1/11・みかほみらい館) 講師 小道モコ氏

☆群馬テレビ愛の募金から、「ポプラ」に50インチ液晶テレビを頂きました。



編集後記

2月の記録的な大雪では交通の手段が完全に閉ざされました。前日から泊まった翌朝早番の職員、4時間かけて歩いて勤務に就いた職員のお陰で、無事に「かなの里」の利用者の食事も調達できました。入所施設の職員の使命感を忘れない姿勢に心打たれた2月でした。

(N・S)

